

平成 27 年度第 3 回（通算第 73 回）

山口国際文化化学研究会へのおさそい

教員世話人 稲田秀雄

院生世話人 王 星慧 小野飛鳥 岡村理恵

日時 平成 27 年 6 月 24 日（水曜日）16 時 10 分より
場所 国際文化学部棟 C-12 教室
主催 大学院国際文化化学研究科
発表者 甲斐少夜子 国際文化化学研究科 2 年生
水谷由美子 国際文化化学研究科教授

「サービスデザインからファブラボへ

～地域の暮らしを豊かにするためのチャレンジ～

要旨

2002 年に MIT（マサチューセッツ工科大学）のニール・ガーシェンフェルド教授がその著書『ものづくり革命 パーソナル・ファブリケーションの夜明け』でファブラボを紹介して以来、その考え方が急速に世界に広まってきました。現在では、先進国ばかりでなく、ケニアやアフガニスタンなどの途上国も含め世界中にファブラボが存在します。その中で日本では 2011 年に「ファブラボ鎌倉」と「ファブラボつくば」がオープンしています。そして 2015 年 2、3 月には山口市商店街にファブラボ山口が期間限定でオープンしました。そこで、ものづくりを通じてのコミュニティ形成が新しい文化を生み出す可能性を感じ、「ファブラボ鎌倉」に研修に出向き、そこで見たこと聞いたこと感じたことを、甲斐少夜子がお話させていただきます。レーザーカッター・3D プリンター・モデラ・デジタル刺繍ミシンの機材を使用しての「ものづくり革命」が山口の未来にどのような現象をもたらすのでしょうか。地方コミュニティのありかたと、ものづくりを通じての豊かな暮らしを考えて頂く機会になれば幸いです。また、国際文化学部が一昨年より取り組んでいるサービスデザインの視点からのファブラボへの展開については、水谷由美子教授にお話頂きます。

※終了後、第二部として自由なトークを展開できる場（山口国際文化学 SALON）を準備しております。こちらも皆様の積極的なご参加をお願いいたします。